

長野県における生態系被害防止外来種リスト補遺 I

石田祐子¹・尾関雅章²・高野(竹中)宏平²・大塚孝一³・堀田昌伸²

1. はじめに

外来生物の被害を防止することは、生物多様性の保全、農林水産業の健全な発展をはかり、人の生命や生活を保護する上で重要である。

長野県は、長野県希少野生動植物保護条例(2004年施行)で、指定希少野生動植物の個体の生息又は生育に支障を及ぼすおそれのある国内外由来の外来種について調査し対策を講ずるとし、長野県生物多様性概況報告書(2011)¹⁾で、県内で確認された特定外来生物 19種の概況や対策状況を整理した。その後、2015年3月に作成・公表された、国の外来種被害防止行動計画²⁾及び我が国の生態系等に被害を及ぼすおそれのある外来種リスト³⁾(以下、生態系被害防止外来種リスト)を受け、長野県環境保全研究所では、1996年の長野県自然保護研究所設立当初から現地調査、文献調査等により収集してきた外来生物の分布情報をもとに、2017年に長野県における生態系被害防止外来種リスト(以下、長野県リスト)⁴⁾を作成した。

長野県リスト⁴⁾作成後、2017年6月に長野県植物目録⁵⁾が出版され、長野県内の植物相に関する情報が飛躍的に増加した。そこで、生態系被害防止外来種リスト³⁾掲載種の長野県植物目録⁵⁾での掲載の有無について確認を行い、追加掲載種について検討することとした。

2. 方法

生態系被害防止外来種リスト³⁾と長野県植物目録⁵⁾の掲載種を比較したところ、両方に掲載されているものの、長野県リスト⁴⁾には未掲載である種が20種あることがわかった。そのため、この20種を対象に、県内の分布について標本確認を行い、一部の種については現地確認を行った。植物の同定は、

主に清水⁶⁾、清水ほか⁷⁾、植村ほか⁸⁾によった。

3. 結果

3.1 分布が確認された種

調査の結果、20種のうち、16種の分布情報が確認された。16種は全て国内に自然分布がなく海外から日本に持ち込まれた種(国外由来の外来種)であった(附表)。これにより、植物の長野県リスト掲載種は、74種(表1)となった。74種の内訳は、国外由来の外来種として71種、国内に自然分布しているが、その自然分布域外の地域に持ち込まれた種(国内由来の外来種)及び国内外に自然分布している種で、国外から国内の自然分布域外に持ち込まれた種(国内に自然分布をもつ国外由来)の3種となった(表1、附表)。

3.2 調査が完了していない種

長野県リストには掲載されていないが、長野県植物目録⁵⁾に掲載されていることが今回明らかになった20種のうち、標本調査が完了していないのは以下の4種である。今後、これらの種の分布の有無について調査を実施していきたい。

標本未確認種

ダイサンチク *Bambusa vulgaris* (イネ科)

ホコガタアカザ *Atriplex prostrata* (アカザ科)

ホシアサガオ**Ipomoea triloba* (ヒルガオ科)

ビワ *Eriobotrya japonica* (バラ科)

*ホシアサガオの長野県植物目録⁵⁾への掲載根拠である標本(MAK331295)は、マメアサガオの可能性があるため、今回のリスト掲載は見送った。

1 長野県環境保全研究所 自然環境部 〒381-0075 長野県長野市北郷 2054-120

(現：株式会社自然教育研究センター 〒190-0022 東京都立川市錦町 2-1-22)

2 長野県環境保全研究所 自然環境部 〒381-0075 長野県長野市北郷 2054-120

3 〒380-0952 長野市宮沖 199-1

表 1 日本及び長野県における生態系被害防止外来種数（上段：長野県内，下段：日本国内）

a. 国外由来の外来種			b. 国内由来及び国内に自然分布をもつ国外由来の外来種		
カテゴリー区分*1		植物	カテゴリー区分*1		植物
定着予防 外来種	侵入予防	-	定着予防 外来種	侵入予防	-
		1			1
	その他	-			-
総合対策 外来種		21	総合対策 外来種	緊急対策	1
	緊急対策	6		重点対策	1
		15			6
	重点対策	19			2
その他		62	その他		2
		35			2
		77			
産業管理 外来種		11	合計		3
		14			10
合計		71			
		190			

*1:定着予防外来種は、国内に未定着の外来種のうち定着した場合に生態系等への被害のおそれがあるために早期防除が必要な外来種、そのうち侵入予防(侵入予防外来種の略)は国内に未侵入の種、その他(その他の定着予防外来種の略)は定着予防外来種のうち侵入の情報はあるが定着は確認されていない種を指す。総合対策外来種は、国内に定着が確認されている外来種のうち、生態系等への被害のおそれがあるために総合的な対策が必要な外来種。外来種被害防止行動計画における対策の優先度の考え方に基づき、総合対策外来種のうち、緊急対策(緊急対策外来種の略)は特に緊急性が高く積極的に防除を行う必要がある種、重点対策(重点対策外来種の略)は甚大な被害が予想されるため対策の必要性が高い種、その他(その他の総合対策外来種の略)は緊急対策外来種と重点対策外来種以外の総合対策外来種のことを指す。産業管理外来種は、産業又は公益的に重要で利用されているが代替性のないため適切な管理が必要な外来種のことを指す。

謝 辞

信州大学植物標本庫の佐藤利幸氏、首都大学東京牧野標本庫の菅原敬氏、国立科学博物館の海老原淳氏には、標本閲覧等で大変お世話になった。ここに、記して感謝申し上げます。

文 献

- 1) 長野県環境保全研究所(編) (2011) 長野県環境保全研究所研究プロジェクト成果報告 9 長野県生物多様性概況報告書。
- 2) 環境省・農林水産省・国土交通省，外来種被害防止行動計画～生物多様性条約・愛知目標の達成に向けて～：<https://www.env.go.jp/nature/intro/2outline/actionplan/actionplan.pdf> (2017年11月確認)。
- 3) 環境省・農林水産省，生態系被害防止外来種リスト：<https://www.env.go.jp/nature/intro/2outline/iaslist.html> (2017年11月確認)。
- 4) 堀田昌伸・須賀 丈・北野 聡・尾関雅章・大塚孝一・黒江 美紗子・石田祐子・岸元良輔 (2017) 長野県における生態系被害防止外来種リスト。長野県環境保全研究所研究報告 13:3 1-40。
- 5) 長野県植物目録編纂委員会 (2017) 長野県植物目録-長野県植物誌改訂に向けてのチェックリスト-(2017年版)。中央プリント株式会社，長野。
- 6) 清水建美編 (2003) 日本の帰化植物。平凡社，東京。
- 7) 清水矩宏・森田弘彦・廣田伸七 (2001) 日本帰化植物写真図鑑。全国農村教育協会，東京。
- 8) 植村修二・勝山輝男・清水矩宏・水田光雄・森田弘彦・廣田伸七・池原直樹 (2010) 日本帰化植物写真図鑑 第2巻。全国農村教育協会，東京。

List of Invasive Alien Species in Nagano Prefecture : Supplement I

Yuko ISHIDA¹, Masaaki OZEKI², Kohei Takenaka TAKANO²,
Koichi OTSUKA³ and Masanobu HOTTA²

- 1 *Natural Environment Division, Nagano Environmental Conservation Research Institute, 2054-120 Kitago, Nagano 381-0075, Japan
(Present: Center for Environmental Studies, 2-1-22 Nishikicho, Tachikawa, Tokyo, 190-0022, Japan)*
- 2 *Natural Environment Division, Nagano Environmental Conservation Research Institute, 2054-120 Kitago, Nagano 381-0075, Japan*
- 3 *199-1 Miyaoki, Nagano 380-0952, Japan*

付表 長野県における生態系被害防止外来種（植物）補遺 I *1

No.*2	科名	和名(別名、流通名)	学名	由来*3	カテゴリ*4	特定/要注意*5
40	スイレン	ハゴロモモ(フサジュンサイ、カモンバ)	<i>Cabomba caroliniana</i>	国外	総合対策(重点)	要注意
51	アカバナ	コマツヨイグサ	<i>Oenothera laciniata</i>	国外	総合対策(重点)	要注意
57	アワゴケ	イケノミズハコベ	<i>Callitriche stagnalis</i>	国外	総合対策(重点)	
81	イネ	チクゴスズメメヒエ	<i>Paspalum distichum</i> var. <i>indutum</i>	国外	総合対策(重点)	
104	タデ	シヤクチリソバ(シユッコソバ、ヒマラヤソバ)	<i>Fagopyrum dibotrys</i>	国外	総合対策(その他)	
111	ナデシコ	マンテマ(マンテマン)	<i>Silene gallica</i> var. <i>quinquevulnera</i>	国外	総合対策(その他)	
113	メギ	ヒラギナンテン	<i>Berberis japonica</i>	国外	総合対策(その他)	
117	アブラナ	セイウカラシナ(カラシナ)	<i>Brassica juncea</i>	国外	総合対策(その他)	
120	マメ	エニシダ(エニスダ)	<i>Cytisus scoparius</i>	国外	総合対策(その他)	
130	クマツヅラ	アレチハナガサ類(アレチハナガサ、ダキバアレチハナガサ、ヤナギハナガサ(サシヤクハニーベナ)、ヒメクマツヅラ(ハマクマツヅラ))	<i>Verbena</i> spp. (<i>V. brasiliensis</i> , <i>V. incompta</i> , <i>V. bonariensis</i> , <i>V. litoralis</i>)	国外	総合対策(その他)	
135	キク	ユウゼンギク	<i>Aster novi-belgii</i>	国外	総合対策(その他)	
145	キク	キバナコウリンタンポポ(ノハラタンポポ、キバナコリンタンポポ)	<i>Hieracium caespitosum</i>	国外	総合対策(その他)	
151	アヤメ	ヒメオウギズイセン(ヒメオオギズイセン、モントブレチア)	<i>Crocus x crocosmiliflora</i>	国外	総合対策(その他)	
156	イネ	キシウスズメヒエ(カリマタスズメノヒエ)	<i>Paspalum distichum</i> var. <i>distichum</i>	国外	総合対策(その他)	要注意
159	タデ	ツルドクダミ(カシユウ、何首烏)	<i>Fallopia multiflora</i>	国外	総合対策(その他)	
184	イネ	ドクムギ属(イタリアンライグラス、ペレニアライグラス等)	<i>Lolium</i> spp.	国外	総合対策(その他)	要注意

*1: リスト作成にあたって、長野県植物目録³⁾による文献調査により追加種の候補を選定した後、それらの種の情報収集や分布・生態に関する現地調査、長野県環境保全研究所植物標本庫(NAC)、信州大学植物標本庫(SHIN)、首都大学東京牧野標本庫(MAK)の収蔵標本調査を行った。

*2: 環境省の通しNo.1に対応。

*3: 国外は国外由来の外来種を指す。

*4: 総合対策(総合対策外来種の略)は、国内に定着が確認されている外来種のうち、生態系等への被害のおそれがあるために総合的な対策が必要な外来種、外来種被害防止行動計画における対策の優先度の考え方に基づき、総合対策外来種のうち、総合対策(重点)は甚大な被害が予想されるため対策の必要性が高い種、総合対策(その他)は緊急対策外来種と重点対策外来種以外の総合対策外来種のことを指す。産業管理(産業管理外来種の略)は、産業又は公益的に重要で利用されているが代替性のないため適切な管理が必要な外来種のことを指す。

*5: 特定は外来生物法に基づく特定外来生物及び未判定外来生物に指定されているもの(今回はなし)、要注意はかつての要注意外来生物(生態系被害防止外来種リスト)の作成をもつて発展的に解消)を指す。